

# 都市みらい通信 IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development



## 【目次】

・第20回合同講演会の開催結果	P 1
・都市づくりについての技術研究発表および講演会開催結果	P 2
・平成25年度第3回都市基盤施設整備見学会の開催	P 4
・機構の活動状況	P 6

## § 第20回合同講演会の開催結果

都市みらい推進機構、都市地下空間活用研究会、アーバンインフラ・テクノロジー推進会議（UIT）の三者合同による第20回目の合同講演会を1月28日（火）都市計画会館において、57名の方にご参加をいただき開催いたしました。

本講演会は、国土交通省・都市局の関係各課から講師をお迎えして毎回ホットなテーマに関してご講演をいただいております。

今回は、先日（12月19日）公表された中央防災会議 首都直下地震対策検討ワーキンググループの最終報告書について、同ワーキンググループの事務局で最終報告書の作成に携わられた内閣府の田村参事官補佐をお迎えし、『首都直下地震の被害想定と対策について』と題して、約2時間に渡ってご講演をいただきました。

以下は講演内容の概要です。

### 【講演内容】

演題名：首都直下地震の被害想定と対策について

講師：内閣府政策統括官（防災担当）付 参事官付  
参事官補佐 田村 英之 氏

（内容）

1. 首都直下地震対策検討ワーキンググループ最終報告の概要
2. 首都直下地震の被害想定 対策のポイント
3. 首都直下地震の被害想定と対策の概要
4. 首都直下地震の被害想定と対策について（最終報告）  
～本文～
5. 首都直下地震の被害想定と対策について（最終報告）  
～人的・物的被害（定量的な被害）～



ご講演：田村英之氏

平成23年3月に発生した東北地方太平洋沖地震から、想定地震、津波の考え方として「あらゆる可能性を考慮した最大クラスの巨大地震・津波を検討すべき」とし、同年8月に内閣府に設置された「首都直下型地震モデル検討会」の内容を受け、「中央防災会議 首都直下型地震対策検討ワーキンググループ」では、人的・物的被害の定量的な想定において被害の様相で示された課題を明確化した上で、



防災・減災対策の検討に活かすことに主眼をおき、被害を最小限に抑え早期復旧復興につなげられるよう対応策を示しました。

ご講演では、過去に遡って発生した首都直下型地震の歴史的背景（首都直下型のM7クラスの地震および相模トラフ沿いM8クラスの地震）、地震の外力、被害想定（人的・物的被害）の概要、社会経済への影響と課題、巨大過密都市を襲う被害の様相と課題、対策の方向性（事前防災・発災時対応への備え）と各人の取り組み（災害発生直後・回復時等）、過酷事象等への対応（首都直下型M7クラス地震、大正関東地震タイプ、延宝房総沖地震タイプ）など、詳しくご説明いただきました。

この最終報告書を踏まえ、各人が想定される被害の様相を把握し、地域、企業、個人等問わず自助、共助、公助の一体的な考えに基づいて、大規模災害発生後それぞれの役割を明確にした上でのBCP策定の重要性についてもお伝えいただきました。

なお、本公演の資料は都市みらい推進機構のホームページ（[www.toshimirai.jp](http://www.toshimirai.jp)）の「会員ライブラリー」に掲載してあります。

本シリーズについては、皆様からのご意見、ご要望をお聞きしながら、国土交通省・関係各課にご協力の基、今後とも皆様のニーズに対応したタイムリーな内容で講演会を進めて参ります。

## § 都市づくりについての技術研究発表および講演会開催結果

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議（UIT）では、都市のインフラ整備に関わるテクノロジーについて、企業・公共団体・大学などで得られた研究・技術・ノウハウ・制度などを互いに発表・討論することによって技術を全国の都市づくりに活かすことを目的にして、毎年1回技術研究論文発表会を東京と大阪で開催しています。

昨年11月15日に丸ビルコンファレンススクエア（東京）での開催に引き続き、今年2月5日「都市づくりについての技術研究発表および講演会」を建設交流館8階グリーンホール（大阪）にて開催いたしました。

開会式では、当推進会議の技術研究発表委員会 高橋洋二 委員長（日本大学総合科学研究所教授）から主催者挨拶に続き、来賓の丸山 徳義 国土交通省近畿地方整備局建政部都市調整官よりご挨拶をいただきました。

技術研究発表では、今年度の「環境・エネルギー」「情報・交通」「まちづくり・防災」の3部門各分野の優秀賞授賞論文（各1編）を発表していただきました。

講演会の講演Ⅰでは「大阪市のまちづくりについて」と題して、寺本 譲 大阪市 都市計画局計画部 都市計画課長から、講演Ⅱでは「都市行政に関する最近の話題～都市再興戦略について～」と題して、中村 英夫 国土交通省都市局 都市計画課 都市計画調査室長からご講演をいただきました。

今回は、公益財団法人 都市活力研究所（UII）様との共催により、当日は約140名のご参加をいただき、盛況のうちに開催することができました。お忙しい中ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。



会場内の様子 <都市計画会館>



主催挨拶：高橋 洋二  
技術研究委員会委員長



来賓挨拶：丸山 徳義  
国土交通省近畿地方整備局建政部都市調整官



会場内の様子<建設交流会館>



### 【技術研究発表／第25回技術研究論文発表会<優秀賞授賞論文>】

A：環境・エネルギー部門

発表者：戸田建設株式会社  
森 一紘 氏

演題名：被災地でのスマートコミュニティ構築  
事業F Sについて

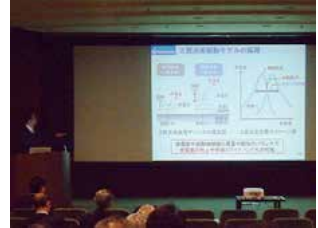


発表【A：環境・エネルギー部門】：戸田建設(株) 森 一紘 氏

B：情報・交通部門

発表者：株式会社竹中工務店技術研究所  
井上 竜太 氏

演題名：設備振動を電力に変換するワイドバン  
ド振動発電技術の開発と適用



発表【B：情報・交通部門】：(株)竹中工務店 井上 竜太 氏

C：まちづくり・防災部門

発表者：ものづくり大学大学院  
木村 奏太 氏

演題名：DCP構築に向けた利害関係者特性によ  
る防災対応力に関する基礎的検討



発表【C：まちづくり・防災部門】：ものづくり大学 木村 奏太 氏

### 【講演会】

#### ■講演Ⅰ

演題名：大阪のまちづくりについて

講師：大阪市都市計画局計画部 都市計画課長 寺本 讓 氏

講演では、大阪市のまちづくりについて、以下の  
内容で詳しくご説明いただきました。

(内容)

1. 大阪都市圏の現状分析
2. 都心のまちづくり戦略
3. 都心を支える広域インフラ
4. 国家戦略特区をめざして



講演Ⅰ：大阪市都市計画局計画部 都市計画課長 寺本 讓 氏

#### ■講演Ⅱ

演題名：都市行政に関する最近の話題 ～都市再興戦略について～

講師：国土交通省都市局都市計画課 都市計画調査室長 中村 英夫 氏

講演では、都市計画をめぐる最近の動向について、  
以下の内容で詳しくご説明いただきました。

(内容)

1. 地方都市の現状・課題
2. 大都市圏の現状・課題
3. 都市再構築戦略検討委員会
4. 都市再構築に向けた公的不動産（PRE）の有効活用
5. 骨太の方針と日本再興戦略
6. 都市の再生に向けた政策の方向性
7. 都市再生特別措置法の一部改正法案
8. 平成26年度都市再興関係予算の決定概要
9. 平成26年度都市再興関係税制の概要



講演Ⅱ：国土交通省都市局都市計画調査室長 中村 英夫 氏



## § 平成 25 年度 第 3 回都市基盤施設整備見学会の開催

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議では、皆様方の関心が高いプロジェクトを選定し、現地にて、当該プロジェクトのキーマンから詳しく説明して頂く見学会を行っています。

今回は「都市づくりについての技術研究論文発表と講演会」の翌日 2 月 6 日（木）に、近畿日本鉄道(株)様のご協力を得て、大阪市阿倍野区の道路・鉄道が複雑に入り混じる交通の結節点となる天王寺駅前（あべの・天王寺は、キタ（梅田）、ミナミ（なんば）と並ぶ、大阪の核となるエリア）に 2014 年 3 月 7 日グランドオープンする「あべのハルカス」の見学会を開催いたしました。

あべのハルカスは 300m で、横浜ランドマークタワーを抜いて高さ日本一の、百貨店、ホテル、オフィス、美術館、展望台など多彩な施設が共存する「立体都市」として注目を浴びています。外観デザインは、過去に国立国際美術館、大阪歴史博物館などを設計しているペリ・クラーク・ペリ・アーキテクツ代表のシーザー・ペリが監修しました。オープン間近とあって会員の皆様のご関心も非常に高く、募集開始早々、あっという間に定員に達し、31 名の皆様にご参加いただきました。

当日はあべのハルカス地下 1 階「時計の広場」に集合し、近畿日本鉄道(株)あべのハルカス事業本部事業部 技術部長 渡部友行様、課長 小林昭夫様、営業推進担当 塩見圭大様からあべのハルカス開発事業の概要（建物・設備）、安全性、快適性、省エネについてのご説明および質疑応答の後、庭園、展望デッキ、内部空間の各所をご案内いただきました。

また、開業直前の事前準備作業や配属スタッフによるリハーサルが各所にて行われている中、あべのハルカス美術館、ハルカス 300 展望台、大阪マリオット都ホテルを見学させていただきました。



【16F】屋上庭園

### ■超高層複合ビル あべのハルカス

概要・安全性・快適性・省エネについて以下の内容等を伺ってから屋上庭園（16 階）を見学しました。

- 地上 60 階・地下 5 階 敷地面積約 28,700㎡ 延床面積約 306,000㎡
- 安全性と居住性を追求し、最高水準の耐震性能を確保。BCP を高める電源供給システムと、5 段階のセキュリティシステムを導入。
- 最先端設備の導入で快適性と省エネルギー化の両立を実現。総合的なエネルギーマネジメントシステムにより、LED 照明、自然エネルギーなどを最大限に活用、エコインフォメーションで可視化による啓発、エアフローウィンドウによる空調不可の低減、VAV（可変風量装置）の採用で多角的に省エネ化。

### ■あべのハルカス美術館

駅の真上という立地と複合ビル内に位置するメリットを最大限に活かした都市型美術館です。日常的にさまざまなアートと触れ合えしてもらえるよう収蔵品は所有せず、近鉄沿線の文化財から日本・東洋美術、西洋美術、現代アート等ジャンルを問わない企画展示により幅広い年代の心に響くよう多彩な展示をめざしたい、とのことでした。

企画によって展示スペースを自由に変動できるような柱を極力少なくしていることや、採光、空調管理等、国宝重要文化財の展示も可能な環境・空間を作り出していることも大きな特徴であり、上質な鑑賞の場として期待が高まりました。

### ■ハルカス 300（展望台）

58 階、59 階、60 階の三層構造（一部上空まで吹き抜け構造）となっている展望台は入場ゲートから専用エレベータを利用。58 階の屋外広場は一面ウツ



【58F】HARUKAS 300 展望デッキ



【16F】あべのハルカス美術館前



【58-60F】地上約 300m からの眺望



吹き抜けの展望デッキ



ドデッキで周囲に植栽が配置されたスペースとなっており、眺望と合わせてカフェ等の利用も楽しめそうです。60階は東西南北360度に足元から天井までのガラスを配した屋内回廊で、大阪平野の広大な景色を一望できました。驚きと癒しを提供し、最大の魅力である素晴らしい景色を存分に楽しめる展望台を目指しているとのことでしたが、皆様、眼下に広がる大阪の街並みや、生駒の山並みや関西国際空港、神戸の遠景など多彩なパノラマと眺望の美しさに驚いた様子でした。

#### ■大阪マリオット都ホテル

マリオット・インターナショナルと提携し、国際都市型ホテルとして世界水準のもてなしを提供。客室360室（38～55階）、レストラン（57階）、個室（20階）、ホテルロビー・ラウンジ・ビュッフェ（19階）など充実した施設でした。

#### ◇ホテルロビー

ラウンジが併設された19階のホテルロビーは東・西・北の3方面に大開口の窓が配されており、パノラマが望める空間となっていました。

#### ◇ビュッフェ「COOKA」 クーカ

約200席を有し、調理の音や香りを楽しめるオープンキッチンスタイルの店内は清潔感があり非常に明るいイメージです。ビュッフェスタイルのライブキッチンは、「5感で食を楽しんでいただく」ことがコンセプトになっており、サラダバー、メイン、デザート各コーナー随所において、そのこだわりが感じられました。

#### ◇レストラン「ZK」ジーケー

ホテル最上階（57階：約270mの高さ）に位置するレストランは周囲をさえぎらない広々とした空間となっていました。日本料理・欧風料理の2つの料理と、目の前で新鮮素材を調理する鉄板焼きが一つになった新しい業態のホテルレストラン。

あべのハルカスの建物は全面がガラスで覆われたカーテンウォールとなっており、3段階にセットバックする立体構造で、各段階の屋上空間に緑地空間が設けられ、周辺の公園施設と協調して緑のネットワークを形成する工夫が施されていました。また、建物内部は吹き抜け空間で「光と風の道」を創出する工夫によりエネルギー消費量を低減する等、環境対策が取られているのも大きな特徴となっていました。

あべのハルカスは「人の心を晴れ晴れとさせる」という意味が含まれた名称のとおり、ビルの上層階からは、晴れやかな景色で爽快感を味わうことができました。この見学会を通し、グラウンドオープン後は地域内外の数多くの方々が、驚きと感動の体験と心地よさを感じられるビルになるものと、大いに期待が高まりました。



【19F】ホテルロビー&ラウンジ



【19F】ライブキッチン メインコーナー



【57F】鉄板焼きカウンター



【19F】緑地空間



## § 機構の活動状況

日	12月	日	1月	日	2月
12	国際不動産プロフェッショナルマーケット会議 (MIPIM) 2014 第1回検討会議	28	国際不動産プロフェッショナルマーケット会議 (MIPIM) 2014 第2回検討会議	21	国際不動産プロフェッショナルマーケット会議 (MIPIM) 2014 第3回検討会議

### 【機構関係諸団体】

#### 《都市地下空間活用研究会》

3	大阪分科会	7	国土技術開発センター	4	復建打合せ
4	大阪地下街調査	8	JAPIC 賀詞交歓会他	4	消防庁
10	八重洲再開発協議会	9	事業・国際交流部会合同会議	4	新宿サブナード打合せ
10	地下防災打合せ	14	国土技術センター打合せ	7	第5回地下街等における安心避難対策検討委員会
13	八重洲分科会	17	第4回地下街等における安心避難対策検討委員会	12	国交省官民連携による地下街整備調査打合せ
		20	八重洲分科会尾島研打合せ	13	筑波大学打合せ
		21	首都高大橋 JC 見学会	13	総務省
		22	土木学会地下空間シンポジウム	14	三菱電機打合せ
		23	大阪分科会	18	土木学会
		23	地下利活用検討分科会	19	八重洲分科会 WG
		24	定例懇話会	20	総務省
		27	総務省ヒアリング	25	地下利活用検討分科会 1SWG
		28	都市みらい・地下研・UIT 合同講演会	26	三菱電機打合せ
		29	水国・国土技術センター水防法ヒアリング	26	東京メトロヒアリング
				26	定例懇話会
				27	新宿サブナード打合せ

#### 《アーバンインフラ・テクノロジー推進会議》

10	第25回技術研究発表会 第20回交流展示会 反省会	20	第3回都市基盤施設整備見学会<あべのハルカス>参加申込締切	5	都市づくりについての技術研究発表と講演会
10	第2回官民連携研究会(講演会) 参加申込締切	21	官民連携による都市インフラの再構築研究会第1回検討会	6	第3回都市基盤施設整備見学会<あべのハルカス>
11	都市づくりについての技術研究発表と講演会参加申込開始	23	第20回都市みらい・地下研・UIT 合同講演会参加申込締切		
16	官民連携による都市インフラの再構築研究会第2回講演会	28	第20回都市みらい・地下研・UIT 合同講演会<首都地下直下型地震の被害想定と対策について>		
18	第3回都市基盤施設整備見学会<あべのハルカス>参加申込開始	30	都市づくりについての技術研究発表と講演会参加申込締切		
26	第20回都市みらい・地下研・UIT 合同講演会参加申込開始				

#### 《まちづくり情報交流協議会》

25	まち交マガジン第5号発出	27	第9回 まち交大賞応募予定地区事前連絡日	21	第9回 まち交大賞応募締切日
25	第9回 まち交大賞募集開始				

### (一財)都市みらい推進機構

住所 東京都文京区関口1-23-6  
 プラザ江戸川橋ビル201号  
 電話 03-5261-5625  
 FAX 03-5261-5629  
 Email kikaku@toshimirai.jp

ホームページもご覧ください  
<http://www.toshimirai.jp/>

当機構は、「新しい都市拠点形成等の都市活性化に関する総合的な調査・研究、情報・資料の収集等、民間の技術と経験を活かしつつ、地域社会と調和した活力ある都市づくりの推進を図ること」を目的として、昭和60年7月29日に設立された財団法人です。

- ・都市再生整備計画事業支援
- ・都市拠点開発・都市再生支援
- ・中心市街地活性化支援
- ・低・未利用地有効活用支援
- ・エリアマネジメント企画 他